

## 学習のすすめかた(第3学年 国語科)

### ☆国語の学習で“めざす”こと☆

- いろいろな国語作品(小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典)や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし、育てよう。
- いろいろな題材を通して、自分の思いや考えを確かなものにし、人に伝え合う力を高めよう。
- いろいろな題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- いろいろな題材を通して、その作品の意図する内容を的確に読みとり、しっかり把握する力を養おう。
- 社会生活に必要な国語の知識や技能を学び、言葉を適切に使えるようになるろう。
- 漢字を正確に書ける力を養おう。

### ☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 国語 3 (光村図書) 副教材 国語の学習 3 (浜島書店) 学習漢字ノート 3 (浜島書店) すらすら基本文法(浜島書店) 国語便覧 (浜島書店)	持ち物	(左記以外に) ノート・ファイル 国語辞典 (必要な時) iPad
学習の進め方	《確かな学力を身につけるには》 ○作品(教材)理解のために、しっかり内容を考えて読み取ろう。 ○授業では、仲間や先生の話をしっかり聞き取り、自分の考えを広げ深めていこう。 ○課題への自分の思いや考えを明確にした上で発表し、仲間に思いを伝えよう。 ○学習課題をしっかり持ち、課題に対して前向きに取り組もう。 ○疑問に思ったことや、わからなかったことを解決する努力をしよう。 ○学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつけよう。 ○何事もじっくり考え、発想が広げられるようにしよう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手なところにも挑戦しよう。 ○課題を解決できたことに自信を持ち、その後の国語学習につなげよう。 ○語句・文法・文学史等、国語の知識の定着に向けての努力をしよう。 ○ロイロノートやeライブラリを効果的に活用しよう。 《家庭学習》 ○予習・復習をしっかりしよう。 ○宿題・提出物にしっかり取り組もう。 ○漢字ノートはこつこつと取り組もう。(漢字テストの直しにも丁寧に取り組もう) 《定期テスト》 ○範囲はテスト発表時に通知します。 ○教科書・ノート・ワーク・資料集等をもとに、授業中に学習した内容や事柄をしっかり復習しておこう。 ○教科書・ノート・ワーク・資料集等をもとに、国語の知識を定着させておこう。		
学習上の注意等	○チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え着席し、授業に備えよう。 ○授業の準備物を忘れないようにしよう。 ○板書されたこと・気づいたことなどノートに工夫してまとめよう。 ○宿題などの提出は、提出期限を守ろう。 ○先生や友だちの話や発表がしっかり聞けるようにしよう。 ○ノートまとめなど個人の活動が早くできて時間に余裕ができたときは、ワークの学習に取り組む、学習内容の定着を心がけよう。また、できることをやり終えたときは、読書・資料集・語句学習・予習・復習等から各自が課題を選択し、自学自習を進めよう。		

☆学習内容および評価について☆

学習計画							
学期	月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法		
前期	4	・オリエンテーション ・握手 ・学びて時にこれを習ふ	中間	知識・技能	○正しく漢字が書けている。 ○知識や理解を問う問題を解けている。 ○社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	・行動観察 (授業態度・発表) ・ノート ・定期テスト ・ワークシート ・小テスト (漢字、聞き取り、暗唱など) ・書初め・書写	
	5	・作られた「物語」を超えて ・論理の展開を意識して書く					
	6	・俳句の可能性 ・俳句を味わう					
	7	・実用的な文章を読もう ・報道文を比較して読もう					
	9	・挨拶 ・故郷 ・聞き上手になろう	期末	思考・判断・表現	○自分の立場や伝えたい事実や事柄を明確に示している。 ○自分の意見が相手に伝わるように、筋道を立てて書いている。 ○書いてある内容を読み、正確に理解できている。 ○広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められている。 ○相手の立場や考えを尊重し、話したり聞いたりできるか。	・行動観察 (授業態度・発表) ・ノート (自分の考え・意見) ・定期テスト ・ワークシート ・作文、聞き取りテスト ・振り返りの内容	
	後期	10	・複数の意見を読んで、考えよう ・考えを効果的に伝えよう	中間	主体的に学習に取り組む態度	○意欲をもって授業に取り組み、粘り強く学習する態度が見られる。 ○課題に対して自らの意見をもって振り返りを書き、そこから新たな課題を見つけようとしている。 ○言葉を通じて人と積極的に関わって思いや考えを確かなものにしようとしている。	・行動観察 (授業態度・発表) ・ノートやワークシートにおける意見や感想、疑問 ・振り返りの内容 ・定期テストにおける振り返り
		11	・初恋 ・君待つと ・夏草				
		12	・それでも、言葉を ・合意形成に向けて話し合おう ・本は世界への扉				
		1	・温かいスープ ・アラスカとの出会い ・律儀な桜 ・わたしを束ねないで	期末			
2		・三年間の歩みを振り返ろう ・文法・漢字・振り返り					
3							
*言葉・漢字・文法・書写等は随時							

「日本や世界が抱える課題に対し、何ができるかを考えよう」(第3学年 社会科)  
 ☆社会の学習で“めざす”こと☆

◎社会的事象に興味・関心をもち、自ら課題を発見し、課題を解決しようとする力をつけよう！！  
 「なぜ？の思考」から課題は生まれる。「どうやったら 解決できるのだろうか？」を考え、ねばり強く取り組むことが大切  
 →達成したという満足感が生まれる。→自信につながる→もっとがんばってみようという気持ちが生まれる

◎さまざまな資料をいろんな角度から分析・考察し、レポート等にまとめる力をつけよう！！  
 (例)  
 ・近年、業績を伸ばした企業をピックアップし、なぜ業績を伸ばしたかを自分なりに考察する。  
 ・国庫支出金と地方交付税交付金の額は、地方によってなぜ異なるのか？また、財源の中で地方交付税交付金の割合が増えるとどういった状況がおこるのか？

◎課題の追求に必要な資料を効果的に活用し、それを的確に読みとり、まとめて、発表する力をつけよう！！  
 (例)  
 ・議院内閣制度、生徒会のしくみを比較し、共通点と相違点を図式化して説明することができる。  
 ・独占価格とは何か？ どのような市場が現在その状態に近いのか？ なぜ公正取引委員会によってとりしまられるのか？ をグラフなどの資料を用いてまとめることができる。

◎社会的事象について理解を深め、知識を身につけよう！！

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 新しい社会 歴史 (東京書籍) 新しい社会 公民 (東京書籍) 副教材 学び考える歴史 (浜島書店) 歴史の学習2・3 (浜島書店) 公民の学習 (浜島書店)	もちもの	教科書 資料集 ワーク
学習の進めかた	《確かな学力を身につけるには》 ・授業には、今日何を学習するのかを確認し、目的意識をもつてのぞもう。 ・長所を伸ばしながら、苦手なことにもあえて挑戦していこう。 ・自分の学習を常に振り返り、理解できていない内容に対し、先生・友達に質問するなど何らかの手だてを打っていこう。 ・班で、友達と問題を出し合うなどして自分、まわりの力を高めていこう。 《家庭学習》 ・その日に学習したことは、ワークで復習していこう。 ・POINTを覚える際は、声に出して、書いて覚えることが大切です。 ・夏休みは3年間の学習の振り返りをするのに絶好の機会です。時間を大切にがんばろう。 《定期テスト》 ・範囲はテスト発表時に通知します。 ・学習する前に計画を立てることが大切です。見通しをもって学習していこう。 ・定期テスト時にワークチェックを行います。日頃からコツコツまとめておこう。		
学習上の注意等	・チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え、着席していること。 ・受け身ではなく積極的に授業に参加していくという気持ちをもつてのぞもう。 ・提出期限は厳守しよう。		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画			評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点	評価の場面・方法
前 期	4	オリエンテーション ＜歴史的分野＞ 第6章：二度の世界大戦と 日本	中間	知識・ 技能 ○資料活用の方法を身につけること ができたか。 ○さまざまな統計・歴史資料などを 読みとることができたか。 ○資料を活用した問題を解くことが できたか。 ○知識・理解を問う問題を解くこと ができたか。	・定期テスト ・小テスト ・発表 ・グループ学習 ・振り返り ・提出物
	5	第7章：現代の日本と私たち  ＜公民的分野＞ オリエンテーション 公民学習の初めに			
	6	1章 現代社会と私たち (夏休み)			
後 期	7	2章 個人の尊重と 日本国憲法	期末	思考・ 判断 ○課題に対し資料に基づいて多面的 に考察し、分かりやすく伝えること ができたか。 ○課題を追求する方法を工夫して考 えられたか。 ○学習を通して、自らの生活 や社会に照らし合わせて考えること ができたか。 ・○思考・判断力を問う問題を解くこ とができたか。	・定期テスト ・小テスト ・発表 ・グループ学習 ・振り返り ・提出物
	9	3章 現代の民主政治と社会			
	10	＜冬休み＞ 4章 私たちの暮らしと経済			
後 期	11	5章 地球社会と私たち	中間	表現 ○課題に対し積極的に解決しよう という姿勢で臨めたか。 ○学習を通じて新たな課題を持つ ことができたか。 ○学習した内容の到達・未到達点 についての具体的な分析ができた か。 ○未到達な内容についてどれだけ 努力できたか。	・定期テスト ・小テスト ・発表 ・グループ学習 ・振り返り ・提出物 ・授業規律
	12	終章 より良い社会を目指 して (高校入試対策)			
	1				
後 期	2		期末		
	3				

## きみの数理的な知性を開発しよう（第3学年 数学）

☆数学の学習で “めざす” こと☆

◎数学を身につけること  
「基礎・基本」を習得し、「創造性」を養おう。

基礎的・基本的な知識・手法 式の計算ができる 数量の関係や法則を見つける	➡	多面的にものを見る力や論理的に考える力(創造力) なぜそうなるのかな？（不思議・疑問） 問題の鍵は何だろう？（解決のキポイント）
--	---	--

数学好きになるために欲しい3つの気持ち

正確さ 正確にものごとを知りたい	気楽さ 楽にしかも早くしたい	的確さ わかりやすく伝えたい
---------------------	-------------------	-------------------

◎数学を役立てること  
数学の「よさ」や「はたらき」を感じよう  
「役立つから学ぶ」から「どのように役立て得るかを問いながら学ぶ」へ

身につけた数学を 活かすと	➡	どんな身の回りの ことを	➡	どのように見たり考えたり できるか
------------------	---	-----------------	---	----------------------

☆学習を進めるにあたって☆

使用 教材	教科書 未来へひろがる数学3年（啓林館） 副教材 数学の問題ノート（新学社） 自作プリント	もち もの	教科書・ワーク・ノート ファイル・タブレット 直定規
学習 の 進 め か た	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計算力をつけよう。計算力は数学の基礎、繰り返し計算問題を解けば必ず向上します。</li> <li>○法則や公式は使うことで身につけよう。暗記するだけでは身についたとは言えません。</li> <li>○間違いを次につなげよう。どこでなぜ間違えたのかを自分で見つけることが大切です。</li> <li>○文章題・図形・グラフなどの問題では、時間がかかっても習ったことを振り返り考えることをしよう。そのような努力があって初めて「解説」が理解できます。</li> <li>○問題が解けたときの達成感や充実感を感じよう。</li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業終了時に、ワークのできる箇所を伝えるので確認と復習をしておこう。</li> <li>○宿題は、必ずしよう。授業時に点検します。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○範囲は、テスト発表時に通知します。無理のない計画を立てて、継続して学習に取り組もう。</li> <li>○日頃からしっかり復習し、テスト前は間違えた問題や応用問題を中心に学習しよう。</li> </ul> <p>《小テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観点別で小テストを行います。授業の復習を行い、学びを定着させましょう。</li> </ul>		
学習 上 の 注 意 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話を聞く」、「板書を写す」、「問題を考える」の切り替えをしっかりとしよう。</li> <li>○ノートをとるときは、スペースに余裕を持って見やすく書こう。話を聞いていて板書されていなくても大事だと思ったことは、自分で書き加えたり線を引いたり工夫しよう。</li> <li>○答えだけを書くのではなく、答えに至るまでの式や計算や考え方を書くようにしよう。</li> <li>○ワーク・ノート・レポートの提出は、期限を守ろう。</li> <li>○指示された問題が早くできたら、ワークや章末問題を進んでやろう。</li> </ul>		

☆学習内容及び評価について

学期	月	単元計画	試験	評価について					
前期	4	式の展開と因数分解	中間	知識 ・ 技能	<p>○問題を解決する手段を理解し、解決することができるか</p> <p>○表やグラフの特徴・用語・記号・図形の性質について説明することができるか</p> <p>○表やグラフをかいたり、読み取ることができるか</p> <p>○基本的な作図や操作はできるか</p>	<p>発表内容 小テスト 定期テスト 演習問題</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>式の乗法・除法</li> <li>乗法の公式</li> <li>因数分解</li> </ul>							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>式の計算の利用</li> <li>平方根</li> <li>平方根・平方根の値</li> </ul>							
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>有理数と無理数</li> <li>真の値と近似値</li> <li>混合をふくむ式の乗法・除法</li> </ul>		判断 ・ 表現	<p>○事象を数学的に捉え、なぜそうなるのかを理論的に考えることができるか</p> <p>○考察したことを筋道立てて説明することができるか</p> <p>○いくつかの事象から、規則性・法則性を見つけだすことができるか</p>		<p>授業への取組 話し合い活動 発表内容 ワークシート 振り返る活動 定期テスト 演習問題</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>平方根の利用</li> <li>二次方程式</li> <li>二次方程式とその解き方</li> <li>二次方程式の解の公式</li> <li>二次方程式と因数分解</li> </ul>							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>根号をふくむ式の計算</li> <li>平方根の利用</li> <li>二次方程式</li> </ul>							
	6	関数 $y=ax^2$		期末	主体的に学習に取り組む態度			<p>○意欲を持って、学習に取り組むことができるか</p> <p>○既習事項を用いて、課題解決につなげようとしているか</p> <p>○学んだことを生活や学習にいかすことができているか</p>	<p>授業への取組 話し合い活動 発表内容 振り返る活動 提出物</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>関数<math>y=ax^2</math></li> <li>関数<math>y=ax^2</math>のグラフ</li> </ul>							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>二次方程式の利用</li> </ul>							
後期	10	関数 $y=ax^2$ の値の変化	中間						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな事象と関数の利用</li> <li>図形と相似</li> <li>相似な図形</li> <li>三角形の相似条件</li> <li>三角形の相似条件と証明</li> </ul>							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>平行線と線分の比</li> <li>中点連結定理</li> <li>相似な図形の計量</li> <li>相似の利用</li> <li>円の性質</li> </ul>							
	11	円周角と中心角				期末			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角の定理の逆</li> <li>円の性質の利用</li> </ul>							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理</li> <li>直角三角形の3辺の関係</li> <li>三平方の定理の利用</li> </ul>							
	12	標本調査とデータの活用							
<ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査</li> </ul>									
1	3年間の復習								
2									
3									

## 「実験」や「観察」・「考えること」を楽しもう（第3学年 理科）

### ☆理科の学習で “めざす” こと☆

- ◎ 自然界で起こっていることに対する関心を高めよう。
  - ・身のまわりで起こっている自然現象について、疑問に思ったことや不思議に思ったことを自ら科学的に調べたり、考えたりする態度を養おう。
  - ・実験や観察に積極的に取り組もう。
  - ・自分の生活が自然環境にどのような影響を与えているかを考え、環境を保護し、人間と自然が調和して生き続ける方法を多くの視点から考えられる力を身につけよう。
  - ・理科の学習で学んだことを「自然」に関係する身の回りのできごとと結びつけて考え、自然現象が起こる理由を説明できる力を身につけよう。
- ◎ 科学的な見かたや考え方を養おう。
  - ・実験や観察の結果を論理的、実証的、客観的に考察し、課題を解決しよう。
  - ・実験結果から、自らの考えを導き出し、規則性を発見しよう。
  - ・自然現象が起こる要因や仕組みを分析的、総合的に考えよう。
- ◎ 目的意識を持って、観察・実験などに取り組み、科学的に調べる力を身につけよう。
  - ・観察・実験の基本操作を身につけよう。
  - ・実験をしてわかったことは何か、自分の言葉でしっかり書けるようになるろう。
  - ・実験結果からどのようなことが考えられるか、事実に基づいて考え、文章で表現しよう。
- ◎ 自然の事物・現象についての理解を深め、知識を身につけよう。
  - ・基礎、基本の内容をしっかり理解し、知識を身につけ、定着させていこう。

### ☆学習を進めるにあたって☆

使用 教材	教科書 未来へひろがるサイエンス3 (啓林館) 副教材 理科便覧 (浜島書店) 理科ノート (新学社) よくわかる理科の学習 (明治図書)	持 ち も の	教科書 資料集 理科ノート ワーク
学 習 の 進 め か た	《確かな学力を身につけるには》 ○ 学習課題をしっかりとらえ、授業や実験に取り組もう。 ○ わからないところを明確にして、必ず克服しよう。(先生に質問・友だちに聞く・調べる) ○ ノートやレポートは、自分の考えや実験結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○ 自主勉強などを通して、家庭学習は毎日こつこつやっっていこう。 ○ 授業や実験には、集中して積極的に取り組もう。 《家庭学習において》 ○ 授業後(できるだけその日のうちに)教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、曖昧だった部分の理解を明確にし、確実に知識を身につけていこう。 《定期テストに備えて》 ○ 中間テスト・期末テストのテスト範囲は、テスト発表時に通知します。 ○ 日頃からしっかり復習し、問題練習を中心に学習が進められるようにしよう。 ○ できなかった問題や難しい問題に再チャレンジし、重要な語句をしっかり覚えよう。		
学 習 上 の 注 意	○ チャイム着席を守り、気持ちを切りかえて、集中して授業にのぞもう。 ○ 板書されたことや、気づいたことなどノートに工夫してまとめておくようにしよう。 ○ 実験・観察においては、目的と方法を理解し、集中して取り組み、事故によるケガをないように、十分注意しよう。 ○ ノート・ワーク・宿題など、提出物の期限は必ず守ろう。		

### ☆学習内容及び評価について☆

学習計画				評価にあたって		
学期	月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法	
前期	4	オリエンテーション		知識・技能	◎ 問題を解くことで実験・観察の基本操作ができているか。 ◎ 実験・観察レポートを工夫して書くことができたか。 ◎ 作図や基本操作を問う問題を解くことができたか。 ◎ ノートを工夫してまとめることができたか。	行動観察 (授業態度・発表・実験)  実験・観察レポートの考察  ノート  定期試験  練習問題プリント  授業の振り返り
		生物のふえ方と成長				
	5	遺伝の規則性と遺伝子				
		生物の多様性と進化				
	6	水溶液とイオン				
		電池とイオン	中間			
	7	酸・アルカリと塩				
	9	力の合成と分解	期末	思考・判断・表現	◎ 論理的な思考ができているか。 (課題に対する予想結果に基づいた考察)  ◎ 思考・判断・表現力を問う問題を解くことができたか。	行動観察 (授業態度・発表・実験)  実験・観察レポートの考察  レポート  定期試験  練習問題プリント  授業の振り返り
		物体の運動				
後期	10	仕事とエネルギー				
		多様なエネルギーとその移り変わり				
	11	エネルギー資源とその利用				
			中間			
		宇宙の正体				
	12	太陽と恒星の動き				
	1	月と金星の動きと見え方	期末	主体的に学習に取り組む態度	◎ 意欲をもって授業に取り組むことができたか。 ◎ 自然に対する自己の経験を振り返ったり、自分の考えや意見を明確にしたり、新たな課題を持つとすることができたか。 ◎ 未到達の部分を粘り強くどれだけ克服しようとしたか。	行動観察 (授業態度・発表・実験)  ワークやノート等の提出物 各種レポートにおける感想  振り返る活動 (授業の振り返りなど)
		自然界のつり合い				
2	さまざまな物質の利用と人間					
	科学技術の発展					
	人間と環境					
3	持続可能な社会を目指して					

# ミュージシャンへの道 (第3学年音楽科)

## ☆音楽の学習で“めざす”こと

- ◎ 音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって、生活を明るく豊かなものにしよう。  
曲想に関心をもとう  
歌唱や楽器演奏に取り組もう
- ◎ 音楽のもつ曲想や美しさを感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしよう。  
音楽・リズム・旋律・和音を含む音と音との関わり合い、形式などを感じ取ろう  
基礎的、基本的な歌唱技術を身につけ、それらを生かした歌唱表現を工夫しよう  
基礎的、基本的な演奏技術を身につけ、それらを生かした器楽表現を工夫しよう
- ◎ 歌唱やリコーダー演奏、創作を通して、表現する能力を育もう。  
読譜力などの基本的な技術を身につけ、音楽表現をしよう  
和楽器を含む様々な楽器で、楽器表現する技術を身につけよう  
創作において自分のイメージする曲を作ろう

## ☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 中学生の音楽2, 3下 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社)	持ち物	中学生の音楽2, 3下 中学生の器楽 アルトリコーダー ファイル
学習の進めかた	<p><b>《確かな学力を身につけるには》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題をしっかりとらえ、心とからだで表現しよう。</li> <li>○ わからないところを明確にして、必ず克服しよう。</li> <li>○ じっくり取り組み、精一杯の努力・工夫をしよう。</li> <li>○ 良いところは伸ばし、苦手とすることに挑戦しよう。</li> <li>○ 努力したのち、自分の成長したことに自信を持とう。</li> <li>○ 歌唱や演奏の喜びを感じ取ることができればすばらしい!</li> <li>○ 聴く力を身につけて、自分のスキルを増やそう。</li> </ul> <p><b>《家庭学習において》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リコーダーや歌唱は、家で復習をして歌詞や旋律をおぼえよう。</li> </ul> <p><b>《実技テストや定期テストに備えて》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌唱やリコーダーの実技テストは、日々の努力の積み重ねを発揮する。</li> <li>○ テスト範囲の重要語句を復習しよう。</li> </ul>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チャイム前に着席する。</li> <li>○ 楽譜に階名を書くときは、できる限り自分で努力する。</li> <li>○ 階名唱をする時は、特にリズムに気をつける。</li> <li>○ 実技テストの時は、課題をしっかりと意識する。</li> <li>○ 歌唱は大きく、響きのある声を出す。</li> <li>○ パート練習では、周りの音をしっかりと聴きながら歌唱する。</li> <li>○ 筆記・実技テストの振り返りは客観的な視野に立って書く。</li> </ul>		

## ☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	識	評 価 観 点	評価の場面・方法	
前 期	4	校歌 花(歌)	定期	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	○主体的・協働的に表現及び鑑賞の 学習活動に取り組もうとしている。  ○粘り強く学習に取り組むことができ る。  ○自分の学習状況を把握し、学習の 進め方について考え、自らの学習を 調整することができる。	授業観察 (発言や役割等)  準備物  提出物 定期テスト 振り返り
	5	花の街(歌・器) ブルタバ(モルダウ) (鑑)				
	6	早春賦(歌) ふるさと(歌) 帰れソレントへ(歌・器)				
	7	ボレロ(鑑) MyMelpdy(創) 全校合唱(歌)				
	9	尺八楽「巢鶴鈴慕」(鑑)				
後 期	10	全校合唱(歌) 能「敦盛」(鑑)	定期	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	○旋律、強弱、速度及び歌詞の内容と 旋律と速度との関連を知覚し、それ らの働きが生み出す特質や雰囲気 を感受しながら、知覚したことと感受 したこととの関わりについて考え、曲 にふさわしい歌唱表現としてどのよ うに歌うかについて思いや意図をも っている。	授業観察 (創意工夫) 表現活動 ワークシート 実技テスト 定期テスト
	11	尺八楽「巢鶴鈴慕」(鑑) 世界の諸民族の音楽 (鑑)				
	12	卒業式の合唱(歌) ポピュラー音楽(鑑) ポピュラーソング(器)				
	1	卒業式の合唱(歌) 旅立ちの日に(歌)				
	2	卒業式の合唱(歌) 旅立ちの日に(歌)				
	3	三年間のまとめ				
			知 識 ・ 技 能	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容と の関わりについて理解している。  ○音楽の特徴とその背景となる文化や 歴史について理解している。  ○創意工夫を生かした表現で歌うた めの必要な発声、言葉の発音、体の 使い方などの技能を身につけ、歌唱 で発表している。	授業観察 ワークシート 実技テスト 定期テスト	

# 2025年度 勢和中学校 第3学年 美術科 シラバス

## 【 中学3年間でつきたい力 】

- 美術活動を通じて、自分の内面への関心を深化させる。
- 美術表現の基本的な技術を身に付け、創造性を養う。
- 日本の美術に対して、興味を持ち、鑑賞する力を育てる。

## 【 評価の観点、評価基準、評価場面 】

知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品(完成度を含む出来)</li> <li>○ワークシート</li> <li>○定期テスト</li> <li>○授業の様子</li> </ul>
現 思考力・判断力・表現力	自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品(工夫やオリジナリティが表現できているか)</li> <li>○ワークシート</li> <li>○アイデアスケッチ</li> <li>○定期テスト</li> <li>○授業の様子</li> </ul>
取 主体的に取り組む態度	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していく態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○提出物(期日が守られているか)</li> <li>○ふりかえりの内容</li> <li>○授業態度(忘れ物や取り組む姿勢)</li> </ul>

## 【 学習を進めるにあたって 】

使用教材	教科書 美術2・3下(日本文教出版)・資料集・ファイル
持ち物	教科書・資料集・ファイル・iPad・絵の具セット(必要な時)・クロッキー帳
学習方法	<p>《学校では》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に意欲的・積極的に取り組みましょう。</li> <li>・見通しをもって制作活動に励み、作品を完成させましょう。</li> <li>・提出期日を守りましょう。</li> <li>・根気よく制作に集中しましょう。</li> <li>・私語を慎み、作品に手数を投入する時間を優先しましょう。</li> </ul> <p>《家庭では》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1度の授業のため、課題をわからないままにせず復習しましょう。</li> <li>・作品制作に生かせそうな、資料やアイデアを見つけたらストックしておきましょう。</li> <li>・日頃から感性を磨き、深く洞察できる力を磨いておきましょう。</li> </ul> <p>《定期テストでは》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容、ワークシート、スライドなどの確認をしましょう。</li> <li>・作品名と作者名については、学校で使う教科書・資料集に記載の名称を正解とするのでしっかり覚えましょう。</li> <li>・実技問題がある場合は、予告をするので練習しておきましょう。</li> </ul>

【 学習内容および評価について 】

学習計画		評価にあたって
期月	単元・教材名	評価基準
前 期	4 オリエンテーション ・授業を受けるにあたっての心構えについて	
	5 心の中を表現する(着彩) ・こだわりの持てるテーマを決めて、イメージを大切に、自由に表現する	知・技 現代技法の理解。構図、色彩等、描き方を工夫し、こだわった表現ができる。 思・判・表 イメージを大切に、制作過程で臨機応変、作品とやり取りしながら考え、自由に制作することができる
	6 ・現代技法(モダンテクニック)の理解、使用可 ・アイデアスケッチ ・イメージを言葉にしてみる  本制作	主 こだわりを持って意欲的に取り組むことができる
	7	
	9 「夏休み自由課題(希望者のみ)」 ポスター制作	
		自己評価
		前期期末テスト

後 期	10	点描 選んだ写真をサインペンで表現	<b>知・技</b> 構図の工夫、明暗を生かして、丁寧に根気よく表現できる <b>思・判・表</b> 構図、明暗、間を生かして、イメージした空間を表現できる <b>主</b> 点の集散が図像を結ぶことに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる
		点描練習	
		本制作	
	11		
	12		
		自己評価	
	1	心の中の自画像(着彩)	<b>知・技</b> 姿はある程度客観的に、色と描き方を工夫し表現することができる <b>思・判・表</b> 多面体である、どんな自分を表現するのか決め、イメージを大切に自由に表現できる
		本制作	
	2		<b>主</b> こだわりを持って「自分」というものに意欲的に取り組むことができる
		自己評価	
3	後期期末テスト		
	1年間のふりかえり		

## 学習のすすめかた（第3学年 保健体育）

### ☆保健体育の学習で“めざす”こと☆

保健体育の学習は保健分野と体育分野に大きく分けられます。保健分野では心身の発育・発達や健康と環境、健康な生活と傷害や病気の予防などについて学習します。体育分野では、いろいろな運動を体験し、それぞれの運動に必要な技能を身につけ、さまざまな知識を学びながら、健全な心身をつくることを目指していきます。そして、これからの生涯を健康的に生きていくために以下の3つの観点を大切にしながら、授業を進めていきたいと思えます。

- ◎運動を楽しむために必要な知識や技能を身につけるようにすること、また、健康・安全に関する理解を深めるとともに、さまざまな場面において活用できるようにしよう。
- ◎自他の課題を発見し、解決していくための方法を考えたり、工夫したりするなど、運動や健康・安全に関する思考力、判断力、表現力を身につけよう。
- ◎運動や健康・安全に対する関心を高め、主体的に関わり実践していこうとする態度を身につけよう。

### ☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 新中学保健体育（学研） 副教材 中学体育実技（学研） 3年間の保健資料ノート（新学社）	もの	(体育) ipad (保健) 教科書、ipad
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。</li> <li>○個人の記録や課題、学習課題に対する振り返りをカードに記録していこう。</li> <li>○どんな課題に対しても挑戦する気持ちを大切にして積極的に取り組もう。</li> <li>○試合のルールや方法について理解し、主体的に取り組もう。</li> <li>○体力や技能の向上に向けての課題や解決策を考えながら、練習やゲームに取り組もう。</li> <li>○学習したことや重要なポイントを自分なりに工夫してワークシートにまとめよう。</li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中学体育実技や保健資料ノート、授業で配布したプリントを活用して学習しよう。</li> <li>○いろいろな運動やスポーツ、健康・安全に関する事象に興味・関心を持ち、メディアのニュースなどにも目を向けよう。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運動やスポーツのルールや技術習得のポイント、健康・安全に関する知識について、教科書、体育実技、保健資料ノートを活用して復習しておこう。</li> <li>○授業で使用したワークシートや単元のまとめのプリントを復習しておこう。</li> </ul>		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業開始時、終了時のあいさつは、きちんとした態度と姿勢で行おう。</li> <li>○各班でランニングと準備運動を行おう。種目によっては、各自でストレッチを行おう。</li> <li>○授業の規律やルールをしっかりと守るとともに、自他の健康・安全に十分留意して活動しよう。</li> <li>○授業で使用する用具やコート等の準備・片づけは全員で協力して行おう。</li> <li>○先生の説明をしっかりと聞き、授業の流れやポイントを把握しよう。</li> <li>○ケガや体調不良で見学するときは、できる範囲で授業に参加しよう。</li> </ul>		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評価にあたって			
期	月	単 元 計 画	試験	評価観点		評価の場面・方法	
前期	4	体づくり運動・体力テスト	期末	知識・技能	○各運動に必要な技術を身につけることができたか。	行動観察 実技テスト 記録会 発表会 定期テスト	
	5	体育理論 陸上競技（短距離走・リレー）			○身につけた技術を試合や発表の場で発揮できたか。		
	6	器械運動			○個人やチームで設定した目標や記録を達成できたか。		
					○運動や健康・安全に関する知識を習得できたか。		
	7	保健（健康と環境）		思考・判断・表現	○学習課題についての振り返りがしっかりできているか。	振り返りシート 行動観察 定期テスト 単元のまとめ	
8		○個人やチームで適切な課題や目標を持って取り組み、練習やゲーム等の場で実践することができたか。					
9	球技（ネット型：バレーボール）	○個人やチームで作戦を立てたり、課題解決に向けて工夫したりして取り組むことができたか。					
後期	10	球技（ベースボール型：ソフトボール） 保健分野 （健康な生活と病気の予防）		中間	主体的に学びに向かう態度	○健康・安全への配慮を主体的に行うことができたか。	行動観察 ワークシート テスト反省 単元のまとめ
	11	球技（グランドゴルフ）				○体力や技能の向上について、また、健康・安全に関する知識を正しく捉えて考えたり、表現したりすることができたか。	
	12	球技（ゴール型：バスケットボール）	○運動や健康・安全について興味、関心を持ち、主体的な態度で取り組みことができたか。				
	1	陸上競技（持久走） ダンス	○授業のルールや規律を守り、自他の健康・安全に留意して取り組むことができたか。				
	2	球技（ネット型：バドミントン）	○準備や片づけに積極的に取り組むことができたか。				
				○仲間と協力したり、教え合ったりしながら、課題に取り組むことができたか。			



## 「技術」に生活の知恵がつまってる！（第3学年 技術）

### ☆技術の学習で“めざす”こと☆

- ◎ 作品を製作したり、コンピュータを活用したりすることによって、「ものづくり」や「コンピュータ活用」の基礎的な知識・技術を習得しよう。生活に必要な基礎的な「技術」について理解を深め、適切に活用する能力を養おう。生活を工夫し、創造する能力を養おう。

#### 1 「材料と加工の技術」

- 生活や産業の中で、「技術」がどんな役割をしているか考えよう。
- 製作するとき、設計（材料のことや機能のことなど）をよく考えよう。
- 製作するとき、工具や機器を安全・適切に使えるようになろう。
- 木材製品を利用した作品が製作できるようになろう。

#### 2 「生物育成の技術」

- 生物の育成に適する条件や管理方法を考えよう。
- 社会・環境とのかかわりについて考えよう。

#### 3 「エネルギー変換の技術」

- エネルギー変換のしくみを知ろう。
- 機器の安全な利用方法と保守点検ができるようになろう。
- エネルギー変換を利用した作品が製作できるようになろう。

#### 4 「情報の技術」

- 情報化が社会や生活に及ぼす影響や、コンピュータの役割を考えよう。
- コンピュータの基本的な機能を知り操作ができるようになろう。
- コンピュータでよく使われるアプリケーションソフトが使えるようになろう。
- 情報通信ネットワークの特徴を知り、利用できるようになろう。
- コンピュータを利用したマルチメディアが活用できるようになろう。

### ☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書  新しい技術・家庭  技術分野  （東京書籍） 副教材  自作プリント エコキューブラジオ	もちもの	教科書・副教材・ファイル ファイルには、配付されたプリントや作成したレポート等を保管する。
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まずは、学習課題をしっかりとらえ、頭と体、心をしっかり使いましょう。</li> <li>○わからないところやできないところを明確にして、学習・製作をしましょう。</li> <li>○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をしましょう。</li> <li>○自分の良いところを伸ばし、苦手とするところにあえて挑戦しましょう。</li> <li>○できるようになったこと、自分の成長したことに自信を持ちましょう。</li> <li>○作品づくりにおいては、ていねいに製作に取り組みましょう。</li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭での仕事を手伝うこと。特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○範囲は、テスト発表時に通知します。</li> <li>○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。</li> </ul>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製作においては、目的と方法を理解・工夫して、ていねいに製作に取り組みましょう。</li> <li>○製作においては、ケガややけどをしないように十分注意しましょう。</li> <li>○完成したすべての作品をていねいに、また大切に扱きましょう。</li> <li>○パソコン機器をていねいに扱きましょう。</li> <li>○機械や工具類を安全に使いましょう。</li> </ul>		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点		評価の場面・方法
前 期	4	○オリエンテーション ○エネルギー変換の技術	期末	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	○身近な機械や電気機器などに興味をもち、技術の発達や生活への活用のこと を考えようとしたか。 ○製作に使用する工具や機器を安全に使うことができたか。 ○身の回りのエネルギーに関心を持ち、それぞれの特徴やエネルギー変換のしくみについて考えることができたか。	行動観察 提出作品 提出ファイル 定期テスト
	5	・発電				
	6	・電気を供給する仕組み ・電気回路 ・電気機器を安全に使用するための技術				
	7	・運動エネルギーへの変換と利用 ・回転運動を伝える仕組み 《夏休み》				
	8					
	9	○エコキューブラジオの製作 ・はんだづけの練習 ・回路計を使った点検				
	10	・はんだづけ				
	11	・組み立て ・回路計を使った点検				
	12	《冬休み》				
後 期	1	○電気機器を安全に使用するための技術	学期末	知 識 ・ 技 能	○材料の特徴と利用方法、製作品の構造に関する知識を身につけているか。 ○工具や機器類の適切で安全な使用について理解しているか。 ○エネルギー変換のしくみについて理解しているか。 ○製作で、工具や機器類を安全に使用できたか。 ○製作で、点検・修正することができたか。	行動観察 提出作品 提出ファイル 定期テスト
	2					
	3					

## 生活の全てが『家庭』です（第3学年 家庭分野）

### ☆家庭の学習で“めざす”こと☆

- ◎作品の制作や調理実習などの体験的な活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得しよう。
- ◎生活に必要な基礎的な「家庭」について理解を深め、適切に活用する能力を養い、生活を想像・工夫する能力を養おう。
- 自ら生活をつくる
  - ・生活の中で果たす食事の役割や健康な体とのかかわりについて考え、日常食の簡単な調理ができるようになるろう。
  - ・TPOに応じた衣服の選択ができるようになるとともに、正しい手入れの仕方や簡単な補修の技術を身に付けよう。
  - ・健康で快適な室内環境について考え、持続可能な住生活の実現を目指そう。
- 生活者として意思決定する
  - ・責任ある消費者になるために、様々な販売方法や支払い方法の特徴を知り、自分で正しい意思決定ができるようになるろう。
  - ・消費者としてできること（権利や責任）について知り、持続可能な消費生活を目指そう。
- ともに生きる
  - ・私たちの生活と家族家庭の機能や中学生としての家庭での役割を考え、自立した生活を送ろう。
  - ・幼児の心身発達の特徴を理解し、現代の子どもを取り巻く環境について知り、家族としての役割を考えよう。

### ☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 技術・家庭（家庭分野）（東京書籍）	もちもの	教科書・家庭科ファイル
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まずは、学習課題をしっかりとらえ、頭と体と心をしっかり使いましょう。</li> <li>○わからないところ、できないところを明確にして、学習・実習をしましょう。</li> <li>○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をしましょう。</li> <li>○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦しましょう。</li> <li>○調理実習においては、安全面に気をつけて取り組みましょう。</li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○長期の休み中に、実技テストの練習や課題プリントに取り組みましょう。</li> <li>○特に長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭の仕事を手伝いましょう。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○範囲は、テスト発表時に通知します。</li> <li>○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。</li> </ul>		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○忘れ物がないように注意しましょう。課題提出の期限を守りましょう。</li> <li>○調理室や被服室で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動をしましょう。</li> <li>○実習においては、目的と方法を理解し工夫して、取り組みましょう。</li> <li>○実習においては、ケガをしないように十分注意しましょう。</li> <li>○班員で仕事を分担し、能率よく協力して作業を行いましょう。</li> </ul>		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評価にあたって				
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点	評価の場面・方法			
前 期	4	オリエンテーション 年代別の名称  自分の幼児期を振り返ろう	期 末	知識・技能  ○自分の幼いころを振り返り、家族の役割について理解している。 ○幼児の心身の発達について理解している。 ○幼児の生活の特徴を知り、子供の育つ環境について理解している。 ○幼児にとっての遊びの意義を理解している。 ○ふれあい体験の準備物をしっかり製作している。 ○幼児のかかわり方について理解している。 ○契約や販売方法・支払い方法・情報収集について理解している。 ○消費者トラブルの背景やその対応について理解している。 ○消費者の権利と責任について理解している。 ○自分の消費行動が及ぼす環境や社会への影響について理解している	定期テスト  カルタ・カード制作の状況  ふれあい体験の様子とレポート提出  学習プリント提出			
	5	幼児の心身の発達  幼児の1日の生活 幼児の食生活						
	6	必要な生活習慣の習得						
	7	幼児の生活と遊び						
	8							
	9	ふれあい体験に関する事前学習  ふれあい体験学習準備物製作						
	10	幼児との接し方				学 年 末	思考・判断・表現  ○商品の選択について問題を見つけ、課題設定・その解決策を構想し、課題解決能力を身につけている。 ○自立した消費者としての行動について工夫している。 ○ふれあい体験を通して、幼児の関わり方での課題解決に向けて振り返って改善し創造工夫している。 ○家族の立場から幼児の関わり方について工夫している。	課題プリント提出  ふれあい体験実習の振り返りプリント
	11	ふれあい体験実習 体験を通した振り返り  消費生活について 物資とサービス 購入方法と支払い方法						
	12	契約と金銭管理						
後 期	1	消費者トラブルの対応策	学 年 末	主体的な学習に取り組む態度  ○計画的な金銭管理について、課題解決に向けて、主体的に取り組み生活を創造工夫している。 ○消費者トラブルに対しての対応策について主体的に取り組み、創造工夫している。 ○商品を購入する意思決定のプロセスについて。主体的に取り組んだり、振り返りを行い、改善策を考えることができる。 ○責任ある消費者として、権利や責任について主体的な取り組みをし、創造工夫していく。 ○幼児の1日の生活について、観察し、創造工夫し、実践している。 ○幼児の関わり方について、課題解決に向けて工夫している。 ○家族関係をよりよくするために、日常生活を振り返って改善し実践しようとしている。	学習プリント提出状況 (内容、表記)  課題プリント提出  ふれあい体験実習の振り返りプリント  ふれあい体験の様子・行動			
	2	持続可能な生活をめざして						
	3							

☆英語科の学習でめざすこと

広い意味において、英語を学ぶ目的は、国際化社会の進展に対応して、英語および英語を話す国々の文化や慣習を学ぶことにより、コミュニケーションの手段として英語を活用でき、その国の文化を理解することができるためと言えるでしょう。

そのため、英語学習において、コミュニケーションの重要性が強調されています。端的に言えば「使える英語」の習得ということでしょうか。この「使える」ということは、英語で自分の考えや意見などを正しく相手に伝える、伝え合うことができる、相手の考えや意見などを正しく受け取って、英語で理解することができるという意味です。中学校では、その基礎を学びます。

☆学習の取り組み方

◇自主学習の取り組みについて：授業を大切にするのはもちろんのことですが、さらに力をつけるために家庭学習に取り組もう！

基礎コース(所要時間 約15分)

1. 音読 教科書の英文を2回以上声に出して読む。(約3分間)
2. 転写 教科書の英文を2回以上自主学ノートに書き写す。(約10分間)
3. 黙読 写した英語を声を出さずに読んで確認する。(約2分間)

上級コース(デジタル教科書が必要です)(所要時間 約1時間)

1. Listening (教科書閉じる)：その日に学習したデジタル教科書の本文を英語で流して内容が耳だけできちんと理解できるか確認する。必要に応じて理解できるまで2～3回聞く。
2. Repeating (教科書開く)：デジタル教科書で流される英文の後について、1文ずつ気持ちを込めて教科書本文を音読する。1文ずつポーズで止めて音読する。必要に応じてすらすら読めるまで2～3回音読する。
3. Overlapping (教科書開く)：デジタル教科書で流される英文にかぶせて同時に音読する。必要に応じてすらすら読めるまで2～3回音読する。
4. Shadowing (教科書閉じる)：デジタル教科書で流される英文を一呼吸遅れて音読する。必要に応じてすらすら言えるまで2～3回行う。
5. Writing (教科書開く)：教科書の新出語句の意味を確認し、5回ずつ自主学ノートに書いて覚える。
6. Reading & Writing (教科書開く)：教科書本文を1文ずつ音読しながら、素早くノートに1回写す(音読筆写)。写した英文を黙読して、間違いがないか確認する。
7. Dictation (教科書閉じる)：1文ずつデジタル教科書の英文を聞き、その後、英文を止めてノートに書き取る。答え合わせをして合っていれば1文ずつ○をつける。間違いは赤ペンで直す。間違えた箇所はさらに書いて覚える。

☆学習上の注意

- ・ 授業はチャイムが鳴るまでに着席し、机上に教科書など準備物を用意しておこう。
- ・ 忘れ物をしたときは、授業が始まるまでに教科の先生に申し出るようにしよう。
- ・ ワークやロイロノート、ふりかえりシートなどの提出物は期限をきちんと守って必ず提出しよう。

使用する教材	教科書 <i>New Horizon English Course 3</i> (東京書籍) 副教材 英語マスターノート3 新英語のワーク3 基本文マスター32 入試に出た重要単語	準備物	・教科書 ・英語マスターノート3 ・新英語のワーク3 ・基本文マスター 32 ・入試に出た重要単語 ・ファイル A4×2冊
--------	--	-----	--

## ☆評価について

教科名	評価の観点	内 容	評価項目
英語	知識・技能	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題についての文章等の内容を捉える技能や、自分の気持ちなどを伝えたり、伝え合ったりする技能を身に付けている。	ペーパーテスト 小テスト(基本文マスター32、単語)
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について考えたり、判断したり、自己表現する。	小テスト(基本文マスター32) パフォーマンステスト ペア・グループワーク
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて学ぼうとしている。	パフォーマンステストや ペアワーク、授業に意欲的に取り組もうとする姿勢、提出物

## ☆授業の計画

学 期	月	主な学習内容と学習の目標	学 期	月	主な学習内容と学習の目標
前 期	4	Unit 0 Discover a New Side of Classmates Unit 1 What is special about Japanese pop culture? ・現在完了形(経験用法)の形・意味・用法がわかり、使える ・「make+[代]名詞+形容詞」の形・意味・用法がわかり、使える ・SVOO(that節)の用法がわかり、使える Unit Activity 日本のポップカルチャー Real Life English ディスカッション Learning Japanese in English	後 期	10	Unit 4 How can we help each other in a disaster? ・間接疑問文の用法がわかり、使える ・現在分詞や過去分詞による後置修飾の意味 ・用法がわかり、使える Unit Activity 防災への取り組み Real Life English 町中での手助け Learning Art in English
	5	Unit 2 How do you choose your clothes? ・現在完了形の完了用法、継続用法がわかり、使える ・現在完了進行形の形・意味・用法がわかり、使える Unit Activity エシカルな商品 Real Life English 講演 Grammar for Communication 1		11	Unit 5 What makes a good leader? ・名詞を修飾する文(接触節)がわかり、使える ・関係代名詞whoの用法がわかり、使える ・関係代名詞that[which](主格、目的格)の用法がわかり、使える Unit Activity 理想のリーダー Real Life English 記事への意見 Grammar for Communication 3
	6	Unit 3 How can we save animals? ・It is...(for+(人))+to+動詞の原形の構文がわかり、使える ・want+目的語+to+動詞の原形の用法がわかり、使える ・let[help]+目的語+動詞の原形の用法がわかり、使える		12	Stage Activity 2 My Activity Report
期	7	Unit Activity 絶滅のおそれのある動物 Real Life English グラフや表の活用 Learning Science in English Grammar for Communication 2	期	1	Unit 6 What does it mean to be a global citizen? ・仮定法の用法がわかり、使える Unit Activity 地球市民としての抱負 Real Life English テレビの国際ニュース Learning Social Studies in English Grammar for Communication 4 Stage Activity 3 Let's have a Mini Debate
	9	Stage Activity 1 Discover Japan Let's read 1 A Mother's Lullaby		2	Let's read 2 Power Your Future Let's read 3 Coloring Outside the Lines

英語科 3 ページ目に、「勢和中学校 CAN-DO リスト」を印刷して貼付する。

CAN-DO リストとは、学習の到達目標を「～することができる」という形で指標化し、英語を使って具体的に何ができるようになったのか、明確化するためのものです。文部科学省の有識者検討会が2011（平成23）年に提唱し、中学校や高校で具体的な指標を設定するよう求めています。たとえば、中学校卒業までに「聞いたり読んだりしたことなどについてほかの人と話し合い、理解したことを確認したり、意見の交換をしたりすることができる」（話すこと）、「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりや全体としてのまとまりに注意してある程度の長さの文章を書くことができる」（書くこと）といったような形式のものです。本校では、学年ごとにより具体化した指標を作成し、勢和中学校英語科 CAN-DO リストとして設定しました。

## 勢和中学校英語科 Can-Do リスト

1 年生		
夏休みまで	冬休みまで	学年末
<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な英語を用いて3文以上で自己紹介の原稿を書くことができる。（書くこと）</li> <li>・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと）</li> <li>・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、自己紹介のスピーチを行うことができる。（話すことproduction）</li> <li>・他人の自己紹介のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、聞き取った内容についての質問を英文で書くことができる。（聞くこと、書くこと）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な英語を用いて5文以上で任意の他人の紹介の原稿を書くことができる。（書くこと）</li> <li>・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと）</li> <li>・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、他人の紹介のスピーチを行うことができる。（話すことproduction）</li> <li>・他人のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、聞き取った内容についての質問を英文で書くことができる。（聞くこと、書くこと）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な英語を用いて5文以上で1年間の思い出についての原稿を書くことができる。（書くこと）</li> <li>・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと）</li> <li>・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、スピーチを行うことができる。（話すことproduction）</li> <li>・他人のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、聞き取った内容についての質問を英文で書くことができる。（聞くこと、書くこと）</li> </ul>
2 年生		
夏休みまで	冬休みまで	学年末
<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な英語を用い、Topic sentence, Supporting sentences, Concluding sentence の段落構造を意識して5文以上で職業体験の思い出についての原稿を書くことができる。（書くこと）</li> <li>・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと）</li> <li>・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、職業体験の思い出についてスピーチを行うことができる。（話すことproduction）</li> <li>・他人のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、聞き取った内容についての質問を英文で書くことができる。（聞くこと、書くこと）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な英語を用い、Topic sentence, Supporting sentences, Concluding sentence の段落構造を強く意識して5文以上で自分の町を紹介する原稿を書くことができる。（書くこと）</li> <li>・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと）</li> <li>・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、原稿を見ずに自分の町を紹介するプレゼンテーションを行うことができる。（話すことproduction）</li> <li>・他人のプレゼンテーションを聞き、その内容を理解できる。また、必要に応じて内容について英語で質問することができる。（聞くこと、話すことinteraction）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な英語を用い、Topic sentence, Supporting sentences, Concluding sentence の段落構造を強く意識して5文以上で将来の夢についての原稿を書くことができる。（書くこと）</li> <li>・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと）</li> <li>・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、原稿を見ずに自分の将来の夢についてスピーチを行うことができる。（話すことproduction）</li> <li>・他人のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、必要に応じて内容について英語で質問することができる。（聞くこと、話すことinteraction）</li> </ul>
3 年生		
夏休みまで	冬休みまで	随時
<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な英語を用い、外国人生徒に対するインタビュー台本を書くことができる。（書くこと）</li> <li>・自分の書いたインタビュー台本をもとに、国際交流事業で、外国人生徒に対してインタビューできる。（話すことproduction, interaction）</li> <li>・外国人生徒とのインタビューで、相手の応答を聞いて理解し、即興的に応答しインタビューを続けていくことができる。また、必要に応じて外国人生徒に質問することができる。（聞くこと、話すことinteraction）</li> <li>・国際交流事業で、外国人生徒と簡単な英語でメールでやりとりをすることができる。自分の言いたいことをメールに書いて送り、送られてきたメールの内容を理解できる。（読むこと、書くこと）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な英語を用い、Topic sentence, Supporting sentences, Concluding sentence の段落構造を意識して5文以上で日本文化についての紹介原稿を書くことができる。（書くこと）</li> <li>・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと）</li> <li>・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、原稿を見ずにALTにもわかるように日本文化についてスピーチを行うことができる。また、必要に応じて、ALTからの質問に答えることができる。（話すことproduction, interaction）</li> <li>・他人のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、必要に応じて内容について英語で質問することができる。（聞くこと、話すことinteraction）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な英語を用い、「給食がよいか、弁当がよいか」等の質問に対する自分の意見とその理由を、Topic sentence, Supporting sentences, Concluding sentence の段落構造を強く意識して5文以上の論理的な文章で書くことができる。（書くこと）</li> <li>・さらに、自分の原稿を見ずに与えられた質問について口頭で他人と意見を述べ合うことができる。（話すことproduction, interaction）</li> <li>・他人の意見を聞き、その内容を理解できる。また、必要に応じて、その内容について英語で質問・反論することができる。（聞くこと、話すことinteraction）</li> <li>・さらに、自分の意見と他人の意見を文章でまとめ、その内容を理解した上で、意見の異同について英語でコメントを書くことができる。（読むこと、書くこと）</li> </ul>